



基本理念 相手の立場に立つ

令和7年1月発行

115号

協和中央病院グループ広報誌

はぐるま



謹賀新年



令和七年

本年もどうぞよろしく
お願いいたします

目次

- 新年のごあいさつ 2~3
- 看護部通信 4
- 医療技術部通信 5
- 小児科外来からのお知らせ 6
- 病院からのお願い 6
- 事務部通信 6
- 恒徳会だより 7
- 外来診療担当医表／編集後記 8

新年を迎えて



社会医療法人恒貴会
理事長

黒川 徳一

皆様、明けましておめでとうございます。

日頃より地域医療・介護・福祉に深いご理解とご協力をいただいております地域の皆様、職員の方々に、心より感謝申し上げます。

さて、年頭にあたり、今年を3つあげたいと思います。

一つ、救急患者さんの円滑な受け入れ・適切な対応に努めること。二つ、患者様ご家族様からのご希望に沿いつつ、より良い医療介護福祉サービスが提供できるように、多職種で協働すること。三つ、協働作業をする際に、適時に目標を共有し合い、時間内で少しでも良い結果が出せるように努めること。

以上の3点は、今までも職員の皆様は実践されてきていることばかりと思いますが、基本に立ち返り、改めて一人ひとりが意識して活動していただければ、さらなる質と量の向上が目指せるものと思います。

お話はちょっとそれてしましますが、忙しさのなかで、急に疲れを感じてしまうことも多い昨今です。心身の疲れに気づいたら、立ち止まって深呼吸してみませんか。睡眠や栄養、気分転換のための軽い散歩や運動は不足していないでしょうか。どんな方でも、強い緊張のなかで頑張りつづけると、自律神経の調節機能が疲弊して頭や身体が働かなくなります。自分へのいたわりも必要ですし、もし身近に疲れている様子の方を見つけたら、一言、大丈夫ですかと声掛けしてあげてください。

私たち職員が仕事していただける大きな報酬は、患者様ご家族様からの感謝の言葉です。そのことが、次につながるお仕事として、いただけます。一人ひとりが社会人としてお互いに尊重され、職業人として成長し続ける努力をしてゆきましょう。

新年のごあいさつ



社会福祉法人恒徳会
理事長

久野 貴俊

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

旧年中は、社会福祉法人恒徳会の運営におきまして、地域の皆様をはじめ、関係者の皆様に多大なるご支援とご協力を賜りましたこと、心より厚く御礼申し上げます。日頃より、利用者の皆様の生活を支えるための多くのご尽力に深く感謝申し上げます。本年も「相手の立場に立つ」ことを基本姿勢とし、明るく、楽しく、希望と生きがいの持てる法人を目指して、職員一同力を合わせて取り組んでまいります。

社会全体が高齢化を迎え、福祉ニーズが多様化する中、私たち社会福祉法人の役割はますます重要になっております。これまで以上に、利用される皆様お一人おひとりに寄り添い、その方が自分らしく、豊かに生活を営むことができるよう、日々の支援に全力を尽くしていく所存です。また、地域とのつながりをさらに深めることで、地域全体が支え合い、安心して暮らせる社会の実現に寄与していきたいと考えております。私たちが地域に根差し、皆様にとって頼れる存在となれるよう努めてまいります。

さらに、恒貴会の存在にも、ここで改めて感謝を申し上げます。ご利用される皆様の健康管理をはじめ、急な体調不良時の対応などにおいて、日頃より重要な役割を果たしてござっております。そのおかげで、私たちの施設が安心・安全なサービスを提供し続けることができいております。グループ全体としての連携をより一層深め、医療と福祉の協働を推進することで、利用者の皆様により良い環境と支援を提供してまいります。

今年も引き続き、利用者の皆様およびそのご家族の皆様が、安心して日々を過ごせるような環境づくりに努めてまいります。同時に、職員一人ひとりが働きやすく、充実した日々を送ることができる職場環境を整えることにも注力し、職員の笑顔が利用者の皆様に伝わるような温かな施設運営を心掛けてまいります。

本年が皆様にとりまして健やかで実り多い一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。また、本年も変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。結びに、皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



協和中央病院
院長
長 弘之

新年のごあいさつ

新年おめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスで制限されていた日常生活が徐々に戻ってきた1年でした。しかし病院の感染対策は厳重にせざるを得ず、まだまだコロナ前には戻りきれていない状態です。

昨年4月から院長になって感じるのは、患者さんや病院職員に対する感謝の気持ちです。以前は診療さえしっかりやっていたらよかったのですが、院長は病院全体の運営を考えねばなりません。多くの病院がある中で当院を選んで受診してくださった患者さんには、大変ありがたく思っています。また紹介してくださったクリニックや病院の先生方、救急隊の方々、そして病院の運営を支えてくれるすべての職員に感謝しております。

今年もいろいろな方々のご支援を受けつつ地域の皆様のお役に立てるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



協和南病院
院長
小笠原 正彦

年頭所感

新年おめでとうございます。

令和時代を新しく迎えたこの5～6年、新型コロナ等の感染症の余波が今後も注意を必要とする状況が続く中で、マイコプラズマほか、さまざまな感染症の流行継続も推測されている昨今です。

国内外にも諸問題が続発しており、人工知能AIが台頭する時代ではありますが、少子高齢化に伴うと思われる慢性的労働力人口不足の予測や、温暖化問題等の起因になる地球環境の劣化、多国籍にわたる国際紛争のさまざまな地域での勃発・繰返し等枚挙に暇がありません。

当院は、社会医療法人恒貴会の中で、変動の時代にあっても地域医療のために常に尽くし、職員一同皆様の心身を支え、慢性期医療のより良い効率化と発展性を一貫して目指していきたいと考えております。

皆様が今年一年、幸多く、ご健康で過ごされますようご祈念いたします。



協和ヘルシーセンター
施設長
中原 昇

明けましておめでとうございます

令和7年が明けました。昨年は夏の暑さにこりごりしましたが、入所者の皆さんそして職員一同大過なく過ごすことができました。今年はどうな年になりますか。

近年高齢者の増加に伴い介護老人保健施設の必要性が増加しています。さまざまな理由で施設での介護入所が必要だと判断されるケースが多くなっています。また健康な生活を送れるよう通所リハビリテーションの利用も有効です。

ゆったりした老後を過ごしていただくために我々は努力する必要があります。地域の需要がある限りは施設としてのサービスをできる限り提供してゆきたいと考えています。

今年も地域の介護老人保健施設として努力してゆきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。職員一同頑張っております。



大和クリニック
院長
木村 洋輔

ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。昨年も皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。

大和クリニックでは訪問診療を中心に活動し、例えば、がん、難病、進行した認知症、自宅で医療機器（酸素、胃ろう、尿のカテーテルなど）が必要など、通院が難しい方のご自宅に定期的に診療に伺っています。難病があっても自宅で過ごしたいとき。人生

の最期は家で過ごしたいと思ったとき。かかりつけ医として、皆様を支えたいと考えています。大和クリニックは、協和中央病院や協和南病院をはじめとした恒貴会の各施設と連携できることが強みになります。自宅での療養をしながらも、必要に応じて病院や施設を利用できることが、安心して自宅で過ごす一助になるのではないのでしょうか。病気があっても過ごしたい場所で過ごせる安心を、地域の連携で支えていきたいと思っております。



中学生職場体験

11月19日に下館南中学校2年生4名の職場体験を行いました。看護体験では、手術室での手洗いやガウンテクニック、血圧測定、車いす移乗などを実施しました。窓越しでしたが、実際の手術を見学することができ、ドラマでしか見たことがないような光景に感激している様子でした。今回の職場体験を通して、病院には自分が知らなかったさまざまな職業があり、多職種で連携していることが分かったとの感想もあり、将来の職業について考える機会になったと思います。



ガウンテクニック

協和中央病院 手術看護科
看護師長 大和田 和美



血圧測定

認知症対応研修を行いました

皆さんは「せん妄」をご存じですか。病気で体の調子が悪くなると、頭の機能も低下して認知症に似たような症状が出ることをいいます。特に高齢の方や認知症の方はせん妄になりやすく、重症化してしまうと認知症の悪化や死亡のリスクにもつながることもあります。せん妄は予防や早期発見・早期対応が重要になるため、多職種が同じ知識をもって協働できるよう、9月にせん妄の院内研修を行いました。

現在、面会時間に制限はありますが、ご家族との関わりによって安心感を得ることもせん妄予防につながりますのでご協力お願いいたします。



認知症看護認定看護師
協和中央病院 新館3階病棟
看護師 海老沼 美智子

認知症の人のかかり方 ～ワンポイントアドバイス～

Q なぜ家に居るのに「家に帰りたい」と言うのでしょうか？

A 家に帰りたい理由は人それぞれ違いますが、現実の場所より「心が安心できる場所」を求めていることが多いと考えられます。認知症になると、日々の暮らしの中で失敗することが増え自分に自信を失っていきます。認知症が進むと、自分がなぜここに居るのか分からなくなり、混乱したり、不安になることも増えます。こういった不安や居心地の悪さから安心できる場所を求め「家に帰りたい」と表現することがあります。ここが家だと伝えるよりも「大丈夫だよ(*^^*)」と本人の思いに寄り添うことが大切です。本人を分かろうとする思いが伝われば、今居る場所も安心できると感じてもらえるかもしれません。

看護部紹介・求人案内のサイトを新設準備中

現在、当院では看護部の紹介や求人案内に特化したサイトを作成中です。地域の皆様により親しみを感じていただけるよう、院内での撮影会や職員へのインタビューを実施し、日々の医療現場やスタッフの想いをお届けする内容を盛り込む予定です。

看護部のサイトでは、私たちの取り組みをより身近に感じていただける工夫を凝らしています。公開までどうぞお楽しみに。

お知らせ

看護部では一緒に働く仲間を募集しています。開設後は看護部サイトから直接、見学申し込み、エントリーができますのでどうぞお気軽にお申し込みください。



年末年始の運動不足を解消!ご自宅で簡単にできるエクササイズ

年末年始は寒さや食事会で外出が減り、運動量が大きく落ち込む時期です。その結果、筋力低下、関節の硬さ、血行不良のリスクが高まります。これらを防ぐため、毎日少しずつ体を動かす習慣を作りましょう。

協和中央病院
リハビリテーション科 係長
理学療法士 **黒田 順互**

ご自宅でできる簡単エクササイズ 以下の運動はいすや壁を使って安全にできる内容です。

①すね・ふくらはぎの運動(血行改善)

つま先を上げ、ゆっくり下す。踵を上げ、ゆっくり下す。

👉 目標：10回を1セット、無理のない範囲で



②スクワット運動(下肢の筋トレ)

いすなどにつかまり、安定させます。膝を曲げ、ゆっくり上げ下げします。

👉 目標：10回を1セット、無理のない範囲で



③肩回し運動(肩こり解消)

手を肩に添え、肩を中心に大きく肘を回します。

👉 目標：ゆっくり5回回す(逆方向も)



④体の反り返り運動(ストレッチ)

腰に手を当て、大きく背中を反らせます。

👉 目標：ゆっくり5回反らす。



●最後に

これらの運動を続けるためには、家族と一緒にいることや、毎日同じ時間に取り組む習慣をつけることが効果的です。朝食の前や夕食後など、決まった時間に行うと忘れにくくなります。

年末年始のツケが体に!?



今すぐ改善すべき食生活のポイント!

協和中央病院 栄養管理科 主任 管理栄養士 **石戸 利幸**

①食物繊維の摂取と栄養バランスを意識する

年末年始のごちそうで栄養バランスが崩れがちです。野菜、タンパク質、炭水化物をバランスよく摂取することが大切です。特に、食物繊維が豊富な野菜を多く取り入れることで、消化を助け腸内の環境を整えます。ごぼう、にんじん、キャベツ、きのこ類や海藻を積極的に取り入れることで、食べ過ぎた影響を緩和し腸内環境を整える助けになります。食物繊維が豊富な食材は満腹感も得られやすく、間食の抑制にもつながります。

②水分と塩分調整で体のバランスを整える

お酒や塩分の多い食事で体がむくみやすくなります。こまめに水やお茶を摂取し、体内の水分バランスを保ちましょう。特に朝一番にコップ一杯の水を飲むことで、代謝を促進し、体内の毒素を排出する効果が期待できます。また、塩分摂取を控え、カリウムを多く含むバナナやほうれん草もむくみの解消に役立ちます。

③過食を避け、適度な量を守る

満腹感を感じる前に食事を終えることや、一日に何度も小分けにして食べることで過食を防ぎます。また、低カロリーの食材を積極的に取り入れ、胃腸の負担を軽減するよう心掛けましょう。例えば、温かい野菜スープや、豆腐、白身魚、鶏ささみなどのメニューがおすすめです。



食事でお困りの方は、外来で個別栄養相談を実施しています。お気軽にご相談ください。

小児科外来からのお知らせ

●毎週土曜日、自治医科大学とちぎ子ども医療センターより、各専門の先生が来院されております。毎月交代制ではありますが、何かご心配、気になること等、診察をご希望の方は受診してみてもいいでしょうか（**予約制ではありません**）。ご不明な点は小児科外来スタッフにお問い合わせください。

- ※1月 4日 ●古井 貞浩（ふるい） 医師
専門分野 小児循環器
- 11日 ●吉成 裕紀（よしなり） 医師
専門分野 小児血液・腫瘍、免疫
- 18日 ●古井 貞浩（ふるい） 医師
専門分野 小児循環器
- 25日 ●月田 貴和子（つきだ） 医師
専門分野 小児神経

※1月以降につきましては、詳細が確定次第、院内掲示・ホームページに掲載します。

病院からのお願い

患者・家族等からの**暴言、暴力行為は禁止**です。

「暴力」「セクハラ」「迷惑行為」等が行われた場合には、警察に通報することがあります。



病院内における**無断撮影・録音・SNS等に投稿する行為は禁止**です。

録音を希望される方は、事前に録音を行う部署（場所）のスタッフにお声かけください。

『録音申請書』に必要な事項を記入し、提出していただきます。

※不審な方を見かけましたら、当院スタッフまでお知らせください。



事務部通信

職員の名札について

名札はこれまで顔写真とともに所属とフルネームを漢字で表記していました。自治体等では、窓口対応に不満を持った方が正当な理由なく職員の名札を撮影してSNSに投稿するといったカスタマーハラスメント、いわゆる「カスハラ」に該当するケースが確認されているということで、全国的に名札表記の見直しが行われるようになってきました。

当院におきましても、職員の不安を少しでも減らし働きやすい職場になるように、また視認性を高める効果として、誰もが読めて、高齢者への見やすさも兼ねて、名字のみで・ひらがな・ローマ字表記（ヘボン式）に変更しました。



「地域医療連携室」の情報をホームページに掲載

ホームページ
URL: www.kyowachuo.jp
に新しく地域医療連携室を掲載しましたのでご覧ください。



小栗判官まつりに参加しました！

地域貢献活動「小栗判官まつり」に参加して

すみれ園

サービス管理主任
安達 弘毅

すみれ園では12月1日(日)地域貢献活動として、小栗判官まつり実行委員会が主催する「小栗判官まつり」の会場に露店を出店いたしました。五目飯飯と赤飯の販売を通して「すみれ園はどこにあるのですか」「昨年も出店されていましたよね」などとたくさん声を掛けられ、大勢の方と触れ合う機会をいただきました。

今後も障害者支援施設すみれ園が地域社会の一員として期待されるよう努力を重ね、地元の皆様との交流の場を大切にして、施設の役割を発信してまいります。



パン約550個を完売！

堇授園

生活支援員
安達 はるみ

暖かく天候にも恵まれて、とても良い環境で販売することができました。パン約550個と数も多かったため、売れるかどうか不安もありましたが、無事に完売することができました。日頃から協和中央病院等で購入してくださっている方や、ロングソーセージの長さに驚いて購入してくださった方などの笑顔を見ることができて楽しい1日でした。これも、前日から用意してくれた職員と利用者様のおかげです。これからもとんがり工房のパンをよろしく願います。予約注文承ります。



「いなりずし」が完売！

桃香園

サービス管理課長補佐
弓削 敏彦

12月1日に小栗判官まつりが開催され、桃香園では今年も『いなりずし』（すし酢・五目・ワサビの3種類）を販売しました。快晴の中たくさんの方々が来場されており、購入していただいたお客様の中には「今年も買いに来ました」と笑顔で声を掛けてくださる方もいて、おかげさまでお昼過ぎには完売となりました。

この伝統あるお祭りに参加させていただき、地域の方々との交流を持てたことに感謝して今後も努力していきたいと思えます。



大好評「絶品からあげ」

恒幸園

栄養士
山口 絵美

小栗判官まつりに、恒幸園は『鶏の唐揚げ』で出店しました。味付けは、生姜・にんにく・醤油の定番の味付けで、外はカリッと中はジューシー、施設で毎月提供し、大変喜ばれているメニューです。地域の皆様にお届けするため、早朝より仕込みを始め、愛情を込めて作りました。たくさんの方にお越しいただき、「おいしい!」との声とともに、「時空戦士イバライガー」が応援に駆けつけてくれ、完売御礼となりました。今後も、「地域に根差した、開かれた施設」を目指し、努力していきたいと考えています。



外来診療担当医表 令和7年1月

() 専門科目

診療科		月	火	水	木	金	土
脳外科	午前	1 五味	黒川	(予約) 黒川	黒川	長	黒川
	2		長	永山		大城	長
●土曜日の脳外科は予約と紹介患者様のみとさせていただきますのでご了承ください。							
外科	午前	1 宮原	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤
	2		宮原		宮原	宮原	
内科	午前	1 玉野	玉野	玉野	高村	海老澤 (漢方外来)	担当医
		2 正和 (循環器)	阿治部 (消化器)	木村	井上 (循環器)	磯田	種ヶ島
		3 福島	磯田	阿部田	福島	岩下 (内分泌内科)	(予約)新保 (循環器)
		5 岡田 (内分泌内科)	北川 (循環器)	磯田	阿治部 (消化器)	高村 (リウマチ)	
	午後 (予約のみ)	7 小林 (呼吸器)	佐多 (呼吸器)		佐多 (呼吸器)	洪 (呼吸器)	
		1	北川 (循環器)		小笠原 (神経内科)	岩下 (内分泌内科)	
		2 清水 (循環器内科)					
		3 岡田 (内分泌内科)					
●内科外来の午後は予約のみとさせていただきますのでご了承ください。							
専門外来	午後		加藤(土) (漢方外来)				
小児科	午前	1 (予約) 中原	(予約) 長尾		(新患予約) 中原	(予約) 中原	自治医大交代制
		2	(予約) 中原				第1 (予約) 中原
	午後	1 (予約) 中原			(予約) 中原		
		2 島野					
整形外科	午前	藤田			藤田	萩原	第1、3、4、5 木村
●月・木の整形外科は予約と紹介患者様のみ、金・土は大学診療のため時間前に受付終了となります。土(第2)は休診となります。予約外の患者様はお待ちいただきますのでご了承ください。							
皮膚科	午前		山路			杉田	
	午後					杉田	
泌尿器科	午前		別納	中村	神原		
歯科 歯科口腔外科	午前 (土は午前のみ)	1 串田	串田	串田	串田	大谷津	串田
		2 大谷津	大谷津	大谷津	大谷津	土肥	尾田・土肥交代制
		3 尾田	佐藤	杉浦	佐藤	佐藤	佐藤
		5		佐藤	第1、3 仙名		
	午後	1 串田	串田	串田	串田	大谷津	
		2 大谷津	大谷津	杉浦	大谷津	土肥	
		3 第1、3、5 尾田	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	
		5 第2、4 佐瀬					
専門外来	午前	1 第3 野口				第1、3 森	

※受付時間【午前の部】

月・火・木・金 (7:30~11:30) 診療開始 9:00
 水・土 (7:30~11:00) 診療開始 9:00
 歯科・歯科口腔外科 (8:30~11:00) 診療開始 9:00

※水・土の午後 及び 日・祭日は、休診です。

※診察の際は、マイナンバーカードもしくは
 保険証をご提出ください。

【午後の部】皮膚科 (13:00~15:30) 診療開始 14:00

内科 (13:00~16:30) 診療開始 14:00

小児科 (14:00~16:30) 診療開始 14:30

*小児科(木)・中原医師予約 (13:00~16:30) 診療開始 14:00

歯科・歯科口腔外科 (13:30~16:00) 診療開始 14:00 水の午後も診療します。

※受付時間外及び休診日に救急診療を希望される方は、あらかじめ電話で
 お問い合わせください。

安心が地域に根ざす 社会医療法人恒貴会・社会福祉法人恒徳会

協和中央病院

脳神経外科・外科・消化器科・内科・漢方内科
 ・呼吸器科・ペインクリニック内科・整形外科
 ・小児科・放射線科・皮膚科・泌尿器科
 ・リハビリテーション科・麻酔科
 ・歯科・歯科口腔外科

茨城県筑西市門井1676番地1
 電話0296-57-6131(代)
 E-mail: kyowa@kokikai.com

療養病床

協和南病院

茨城県筑西市門井1674番地1
 電話0296-57-5133(代)
 E-mail: minami@kokikai.com

介護老人保健施設

協和ヘルシーセンター

茨城県筑西市門井1669番地2
 電話0296-57-6030(代)
 E-mail: healthy@kokikai.com

大和クリニック

茨城県桜川市大國玉2513番地12
 電話0296-58-7788(代)
 E-mail: yamato@kokikai.com

訪問看護ステーション

愛美園

茨城県桜川市大國玉2513番地12
 電話0296-20-6780(代)
 E-mail: aibien@kokikai.com



障害者支援施設

すみれ園

茨城県筑西市門井1677番地21
 電話0296-57-5125(代)
 E-mail: sumireen@kohtokukai.jp

障害者支援施設

堇授園

茨城県筑西市門井1687番地1
 電話0296-57-3400(代)
 E-mail: kinjyuen@kohtokukai.jp

障害者支援施設

桃香園

茨城県桜川市大國玉2513番地10
 電話0296-58-7870(代)
 E-mail: tohkaen@kohtokukai.jp

新型特別養護老人ホーム

恒幸園

茨城県筑西市向川邊98番地1
 電話0296-57-7268(代)
 E-mail: koukouen@kohtokukai.jp



編集後記

あけましておめでとうございます。

昨年末より健康保険証に代わる「マイナ保険証」への移行も始まり、皆様におかれましては不安や戸惑いのことと思われる。また、空気が乾燥しているこの時期、コロナウイルスなどのウイルス感染症が流行していますので体調にはお気を付けください。

最後に「はぐるま」115号を発行するにあたりご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。これからも病院や施設等の情報をお伝えできればと思います。(野村)

※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。

●発行責任者/黒川徳一

●編集委員/相澤明美 飯泉茂徳 杉田恵美子

野村正浩 高松紀平/飯田信宏 渡辺昌彦